

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>	英語リーディング ER61 1T20 English Reading					担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 石井 昌子				
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	火1		配当学年	1 回生	対象学生	全学向		
[技能領域]											
アカデミックリーディング											
[授業の概要・目的]											
この授業は、アカデミックなエッセイを正確に読むことにより、論理的・批判的に読む力、養うことを目的とする。 具体的には、James D. Watson, The Double Helix: The Discovery of the Structure of DNA, Phonix (2010)を読む。1968年に初版が出版された本書は、DNAの二重螺旋構造を発見したことにより、Francis CrickとMaurice Wilkinsとともに1962年度のノーベル生理学・医学賞を受賞した筆者が、そこに至るまでの自身の研究の過程と人間模様を、筆者の視点から描いたものである。 ディスカッション、プレゼンテーションを通じて、英語による情報発信の練習も行う。											
[到達目標]											
・ 英文の論理構造を正確に理解する力を養う。 ・ 英文を通して収集した情報を、整理する力を養う。 ・ 英語で、情報発信できる力を養う。											
[授業計画と内容]											
授業においては、 受講者は、テキストの内容と英語に関する説明を、担当教員のサポートを受けながら日本語で行う。 の終了後、クラス全体で、担当教員の質問に基づいてディスカッションをする。 毎回授業の始めに、テキストのディクテーションを内容とする小テストを行う。 受講者は学期を通じて、3人グループでテキストに関連したトピックにつき、情報を集め、パワーポイントを使って英語で発表する。学期途中で、制作途中のレジュメを提出する。 授業は以下のスケジュールで行う。 第1回 オリエンテーション。Introductionを読む。 第2～12回 1回の授業で2～3章ずつ読み進む。 第13～14回 プレゼンテーション 第15回 期末試験 第16回 フィードバック											
[履修要件]											
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。											
[成績評価の方法・観点]											
平常点評価・期末試験・提出物などにより、総合的に評価します。 ・ 5回以上の欠席は認めません。											
----- 英語リーディング ER61(2)へ続く ↓ ↓ ↓ -----											

英語リーディング ER61(2)

- ・授業での読解に関する発表とディスカッションへの参加度（30%）
- ・小テスト（10%）
- ・プレゼンテーション（発表・レジュメ[完成品と中途提出物]）（10%）
- ・期末テスト（50%）

[教科書]

James D. Watson 『The Double Helix: The Discovery of the Structure of DNA』（Phoenix）

[参考書等]

（参考書）

ジェームス・D・ワトソン 『二重らせん』（講談社文庫）

[授業外学修（予習・復習）等]

予習復習の詳細については、授業で指示します。

[その他（オフィスアワー等）]

積極的な授業参加を期待します。毎回授業の始めに小テストを行いますから、遅刻のないようにしてください。